

16 いちのみや秋の緑化フェア

- 【日 時】 平成 30 年 10 月 7 日(日)～8 日(月・祝) 9:30～16:00
【会 場】 愛知県一宮市 138 タワーパーク
【内 容】 以下のとおり

一宮市公園緑地課で事務局を持つ「いちのみやリバーサイドフェスティバル運営協議会」が主催して毎秋に開催される『2018 いちのみや秋の緑化フェア』に、今年も木曾地域から参加・出展いたしました。

このイベントは市民の緑化活動の推進を目的として毎年秋に開催されており、今年は2日間とも台風一過の晴天に恵まれ、2日間で24,937人(主催者発表)の来場者がありました(去年は30,982人)。会場には木や花の苗の配布・販売、ガーデンコンテストの作品展示やミニ椅子製作・丸太切りなどの木工体験、花の寄せ植え教室、全国植樹祭PR等、緑化推進に関する様々なブースと、市民によるフリーマーケットのテントが立ち並んだほか、野外ステージでは市民団体による和太鼓や舞踊などの芸能発表や御当地アイドルのパフォーマンスなど、多彩な内容でお客さんを集めていました。

今回木曾広域連合ブースでは、箸づくり体験と観光PR(パンフレットの配布)を行い、箸づくり体験には2日間で56名(初日:23名、2日目:33名)のお客様にご参加いただきました。

また、郡内事業者(ボン・プラン、ごへ一本舗、ファーストグリーン、木曾の食と酒振興会)にご協力いただき、木曾の特産品の販売も行いました。例年に比べ来場者は少なかったものの、『木曾の食と酒振興会』では県内産のリンゴやブドウが次々に売れていきました。今年度も『ごへ一本舗』の隣ブースの『東白川村』も五平餅の販売を行っており、2日目は『ごへ一本舗』よりも10円安い価格で販売していました。『ボン・プラン』、『木曾ごへ一本舗』、『木曾広域連合』のブース前の通りは特にお客様の往来が少なく感じられ、来年度以降ブース位置の検討が必要かと思われます。

☆当日の様子



広域連合ブース（箸づくり体験）



ボン・プラン（おやき、中華まん販売）



ごへー本舗（五平餅販売）



ファーストグリーン（乾燥キノコ販売）



木曾の食と酒振興会（青果、地酒販売）



イベントステージにて（和太鼓の演奏）